

浄土真宗東本願寺派野中山正山寺

ほつ寺通信

※ご家族でご覧ください

第33号

令和6年3月1日
発行責任者
<藤野正
(住職)>

春の彼岸

3月17日（彼岸入り）
3月20日（中日・春分の日）
3月23日（彼岸明け）



まもなく春の彼岸となります。ご先祖あつての私達、お墓参りをされる中で、阿弥陀仏そしてご先祖様に思いを巡らしお

墓参りを。また中々会えないご家族がいらつしやったら、これをご縁に会うキツカケとして頂くのご先祖様のお導き。寺族共々皆様の参詣をお待ちしております。

この期間内、混雑の予想される17日（日）・20日（水・祝）に交通整理をお願いする予定です。参詣の際は、事故の無いようお気をつけてお越し下さい。

3月20日（水）午後2時 永代供養合同法要

彼岸の中日午後2時より、永代供養「正安の縁」会員様向けの合同法要を行います。※雨天決行参加される方は、開始10分程前に本堂にお越しください。お早くお着きの方は、休憩所等でお待ちください。※費用不要。御一緒に正信偈を読み、納骨されている方に思いを巡らしつつ、御本尊阿弥陀仏に報恩感謝致しますよう。



本堂で読経後、永代供養墓にもお参りします。
※永代供養をお考えの方は、お気軽にお問い合わせ下さい。
随時見学も承っております。
(要予約)

住職の仏々ぶつぶつ

1月1日に起きた、能登半島での大地震、本当に驚きました。13年前の東日本大地震を彷彿とさせる津波被害を心配し報道を固唾を呑んで見守っていました。日が経つに連れ段々と明らかになる被害状況、特に火災や家屋倒壊等の被害で沢山の方が亡くなられたことを知り、被災した方々へ心よりお見舞い申し上げます。

本来ならボランティア活動等に参加したいところではあります。が、それも叶わず義援金を送る程度で済ませて頂いております。こう書くとも義援金を送るよう催促しているように思われるかも知れません。しかし、内容はどうあれ、被災地のことを思い、今自分が出発することをするのが大事なんではないでしょうか。仏教では布施が大事とされています。「あまねく施す」という意味で、ボランティア、義援金、エール（復興を願う心）を送る。それは必ずや被災地の復興に役立つはず。そして支援続けることも大事です。

木瓜（ボケ）



木瓜は、春に梅のような丸みのある花を咲かせ、春の訪れを知らせてくれる可愛らしいお花。花言葉は

「先駆者」「妖精の輝き」というのも納得でしょうか。ただ、ボケと書くと、お笑いのボケや以前「痴呆症」と言われていた「呆け」を思い浮かべるでしょうか。後者の場合、「ちよつとボケて来た」位なら誰しも経験があつてそれほど気になりませんが、今の認知症と言われるような生活に支障を来すような状態になるとご家族も心配されるかと思えます。今では、八十歳代で二割以上が発症し、なりたくない病として「ガン」を抜いて一位が「認知症」だそうです。たとえボケたとしても、木瓜の花のような可愛らしい、無邪気で爛漫なボケでありたいですね。そして、とある精神科医の先生が仰

るには、「念仏者にはもちろん年相応の物忘れはあるものの、他の患者さんと比べて認知症の現れ方が違う。周囲ともトラブルになりにくいような気がする。」とのこと。それは「自力のコダワリから離れて、他力（阿弥陀仏）にお任せする」生き方から来るのかもかもしれません。阿弥陀仏や仏様になられたご先祖様に感謝しお念仏を称える生活を心がけて頂けたら、ボケたとしても木瓜のような皆から親しまれる存在でいられるかもしれませんよ。ここで認知症を防ぐための心得を紹介します。

- ・ 食生活を整える
- ・ 運動を心がける
- ・ 生き生きとした生活を
- ・ 人間関係を円滑に
- ・ 自ら健康に気をつけ寝たきりにならないように
- ・ 何事にも感謝の気持ちを持ち

お念仏の生活を
最後は私が付け加えましたが、至って普通の生活信条でもありません。これが段々と出来なくなるのが「認知症」に繋がっていくのかもしれない。ご参考までに。

坊守のコラム

ぼうもり※住職の妻

先日、息子の学年（小学5年）でスキー教室がありました。最近、スキーを楽しむ方がだいぶ少なくなつたと聞きます。学年の四分の三がスキー初心者とか。その中で、スキー経験者である息子は、とても楽しみにしてました。皆にいいところを見せようと、事前の冬休みに家族で同じスキー場へ。一年に一度行く程度の経験ですが、何故か自信満々：（笑）。

少しずつ上達し、直滑降からターンも出来る位の仕上がりに。
いざ、町田市の施設の川上村へ出発。スクールの先生に教えて頂けるので、更に上達出来るかなと期待していましたが、実際は、先生の後ろで列になつてゆつくり滑るだけだった様子。自由に滑れるわけではなく、ちよつと物足りなかつたようです。帰宅早々、もう一度同じ所に行つて、ガンガン滑りたい：と。しかしその後は予定が合わず、行けそうにありません。
来年は、スノーボードもやってみたいと、好奇心旺盛です。もう、

体力的に母はついていけません。だめですね：（苦笑）。子供にかなわないことが増えてきました。先程、住職が認知症を防ぐ心得等をお伝えしましたが、2番目と3番目を載せました。通常のもつて生活することは、通常の生活信条：まさに、子供が普通にしていること。改めて、子供の生活環境つて、素晴らしく健康的であることに気づきました。私も心がけて行きたいと思いました。

ペットのお墓「安住」

あんじゆう

前号にて概要をお伝えしたペットのお墓ですが、無事に完成し申込を受け付けています。当面、檀



- ・ ペットの種類：犬と猫
- ・ 骨壺サイズ：5寸まで（6寸以上は分骨）
- ・ 骨壺のまま16年間保管（後、合祀予定）
- ・ メッセージプレート：あり（位置、選択可）
- ・ 申込金：一体7万円（納骨分骨費用含む）

家と永代供養会員の方に限らせて頂きますが、興味のある方はお気軽にお問い合わせてください。また、本堂左側の永代供養墓のある通路の左側奥に設置してありますので、ご自由にご覧いただけます。

あとがき

木瓜から、ボケ、認知症に繋がる話は書くのをはばかられたのですが、将来の自分自身の為にも注意しておきたいことでしたので、載せさせて頂きました。そしたら、一番人気？の「坊守のコラム」でも触れられて：これはもう皆さん「認知症を防ぐための心得」是非気にかけて頂けたら幸いです。

寺報「ほっ寺通信」 第33号

浄土真宗東本願寺派 正山寺

住職：藤野慶正（発行責任者）
住所：〒194-0201 町田市上山田町1504
電話：042-797-1446
FAX：042-797-9233
URL：<http://shousan.net>
メール：info@shousan.net